

各報道機関 様

記者発表資料(24-031)  
平成24年 9月12日(水)  
<本状に関する問合せ先>

広報宣伝事業担当 大和田  
TEL : 048-647-8338 FAX : 048-647-0116  
E-MAIL : koho@stib.jp  
URL : <http://www.stib.jp>  
Twitter : @SaitamaTIB

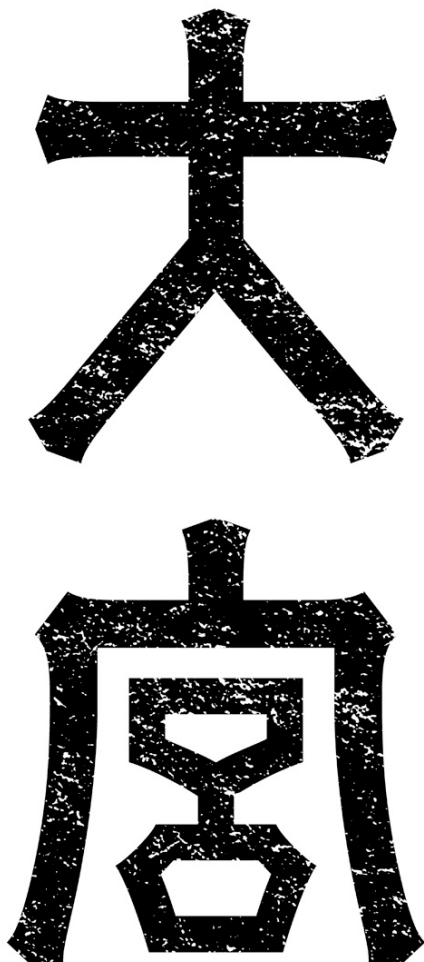
### 大宮盆栽ロゴマークを作成しました。

本市では、さいたま市の伝統産業であり、世界でも高い評価を受けている「大宮盆栽」を世界的ブランドとして確立するため、中小企業庁の中小企業海外展開支援事業を活用し、大宮盆栽 JAPANブランド化事業を推進しているところです。

このたび、この事業の一環として世界的デザイナーである原研哉氏に、ロゴマークの作成を依頼しました。

大宮盆栽を世界的ブランドとして確立し、海外への販路拡大や観光客誘致を図ることを目的に、各種プロモーション活動を実施しておりますので、今後はこのロゴマークをパンフレット、ポスター等に使用し、ブランドイメージを確立するため、事業を展開して参ります。

記



O M I Y A

B O N S A I

## 2 デザイナープロフィール

原 研哉 | Kenya HARA

デザイナー。1958年生まれ。「もの」のデザインと同様に「こと」のデザインを重視して活動中。2000年に「RE-DESIGN—日常の21世紀」という展覧会を制作し、何気ない日常の文脈の中にこそ驚くべきデザインの資源があることを提示した。2002年に無印良品のアドバイザーボードのメンバーとなり、アートディレクションを開始する。2004年には「HAPTIC—五感の覚醒」と題する展覧会を制作、人間の感覚の中に大きなデザインの資源が眠っていることを示した。長野オリンピックの開・閉会式プログラムや、2005年愛知万博の公式ポスターを制作するなど日本の文化に深く根ざした仕事も多い。2007年、2009年にはパリ・ミラノ・東京で「TOKYO FIBER—SENSEWARE展」を、2008年から2009年にかけては「JAPAN CAR展」をパリとロンドンの科学博物館で開催するなど、産業の潜在力を展覧会を通して可視化し、広く世界に広げていく仕事に注力している。2011年には北京を皮切りに「DESIGNING DESIGN 原研哉 2011 中国展」を巡回するなど、活動の幅をアジアへと拡大。著書「デザインのデザイン」や「白」はアジア各国語版をはじめ多言語に翻訳されている。日本デザインセンター代表取締役。武蔵野美術大学教授。日本デザインコミッティー理事長。日本グラフィックデザイナー協会副会長。

## 3 ロゴマークに込められた思い

ロゴタイプに使用した「大宮」の二文字は、甲骨文字を青銅器に刻んだ金文の骨格を参考として、細部に日本的なメリハリを加えつつ、新たに開発した文字です。宮のウ冠が下まで長くのびている点に特徴があります。ウ冠の中の呂の字は、甲骨文字や金文においては中央の一角がありませんが、可読性を高めるためにあえて配しました。

これによって、鉢に植えられた植物のような造形がそこに現れ、見立てによっては、ロゴ全体が盆栽のようにも見えます。この文字を、拓本のような味のあるテクスチャーを加えて表現することで、文字に独特の雅味や奥行きが生まれます。

これに沿わせた欧文ロゴタイプは、カッププレートと呼ばれる書体で、銅に掘られる際に起筆と末筆に特徴的なアクセントがある文字です。漢字も、その起筆末筆にメリハリをつけていますので、この欧文がびたりと一致します。和文と英文を組み合わせ、ひとかたまりとしたものをシグネチャーといいます。このシグネチャーの適切な運用により「大宮盆栽」のアイデンティティがよい形で立ち上がってくるものと期待されます。

## 4 ロゴ使用開始日

平成24年9月3日（月）

## 5 参 考

### ○大宮盆栽 J A P A N ブランド化事業

- さいたま観光国際協会が事業主体となり、中小企業庁の中小企業海外展開支援事業費補助金（J A P A N ブランド育成支援事業）を活用し、「大宮盆栽」を世界的ブランドとして確立し、海外への販路拡大や観光客誘致を図るため、プロモーション活動等を実施しています。今回のフロリアード2012への出展はこの事業の一環として実施するものです。
- 大宮盆栽村の5園（蔓青園、九霞園、藤樹園、芙蓉園、清香園）が参画事業者となり、さいたま観光国際協会、さいたま市、さいたま商工会議所、大宮盆栽美術館等を含め、「大宮盆栽海外展開プロジェクト研究会」を組織し、事業を推進しています。
- 平成23年度は、大宮盆栽を世界的ブランドにするための戦略を策定しました。報告書は以下からダウンロードできますので、ご参照くださいますようお願いいたします。

[http://www.stib.jp/pdf/prpdf24/pr24\\_005\\_bonsai.pdf](http://www.stib.jp/pdf/prpdf24/pr24_005_bonsai.pdf)

### ○ J A P A N ブランド育成支援事業

中小企業庁の補助事業で、中小企業の新たな海外販路の開拓につなげるため、複数の中小企業が協働し、企業が持つ素材や技術等の強みを踏まえた戦略の策定支援を行うとともに、それに基づいて行う商品開発や海外市場開拓の取組を支援しております。